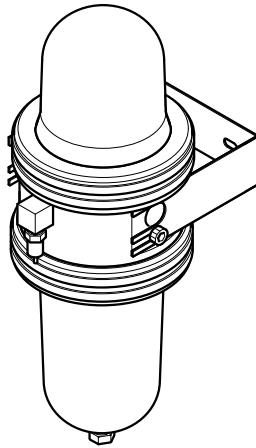


3in1 MULTI DRY FILTER SKELETON

3in1マルチ・ドライフィルタースケルトン

型式 SKT-103A-AB

取扱説明書



安全にお使いいただくために	P.2 ~ 3
各部の名称	P.4
同梱品を確認する	P.5
取り付け例	P.5
知っておくべきこと	P.6
ドライフィルターの設置	P.6
部品の交換と洗浄	P.7
第1エレメントの洗浄と第2エレメントの交換	P.8 ~ 9
オイルリミストエレメントの交換	P.10
オートドレンフロートの洗浄 / 交換	P.11
ハウジング・ボウルの洗浄 / 交換	P.12
修理を依頼される前に	P.13
製品仕様	P.14
流量特性	P.14
寸法図	P.14
ポリカーボネイトの耐薬品性について	P.15
同梱のリプライカードについて	P.16
品質保証書	P.16
使い方や修理に関するお問い合わせ	P.16

このたびは、3in1 マルチ・ドライフィルタースケルトンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
- ご使用になる前に、「安全にお使いいただくために」(P.2 ~ 3) を必ずお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管していただき、メンテナンスなどにご使用ください。

安全にお使いいただくために

● シグナル・ワード

ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示の意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

● 選定時

⚠ 警告
・仕様範囲内でご使用ください。仕様については「製品仕様」(P.14)、およびカタログをご覧ください。

⚠ 注意
・フロート式オートドレンの作動不良を避けるため、以下の使用条件でご使用ください。 - 使用するコンプレッサーは、0.75KW(100 l/minANR)以上でご使用ください。 - 複数台のフィルターをご使用になる場合は、上記条件に使用台数を乗じた値以上のコンプレッサーをご使用ください。

● 設置時

⚠ 警告
・ハウジングとボウルの材質はポリカーボネイトです。シンナー、アセトン、アルコール、塩化エチレンなどの有機溶剤、硫酸、硝酸、塩酸などの化学薬品、次亜塩素酸ナトリウム、オイルリミスト、塩素、漏れ検知液、切削油、合成油、エステルベースのコンプレッサー油、アルカリ、灯油、ガソリン、ねじロック剤などの界面活性剤、または付着する場所でのご使用はできません。ハウジング・ボウルの耐薬品性については、「ポリカーボネイトの耐薬品性について(P.15)をご確認ください。このような場所でご使用になる場合は、弊社アルミ製 3in1 マルチ・ドライフィルターをご使用ください。

同梱のリプライカードについて

リプライカードにご登録いただきますと下記の特典をご利用いただけます。
当社ホームページより必要事項をご登録いただきますようお願い申し上げます。

1. Amazon ギフト券 500 円分 進呈
2. フィルターエレメントの交換時期のご案内
3. 購入製品に関する損害賠償責任保険の無料加入

品質保証書

お客様に安心して製品をお使いいただくために、こちらの製品はお買い上げ日より1年間の品質保証を付けさせていただきます。

【保証内容】

正常な使用状態において品質及び製造上の不備により不具合が生じた場合に無償修理、バーツ交換をさせていただきます。

修理が不可能な場合は、同モデルに交換させていただきます。

*お客様の過失・故意によるものや経年劣化によるものは保証の対象外とさせていただきます。

*保証の対象については弊社にて判断させていただきます。

*ご購入店様名、ご購入日の記載がないものについては保証の対象外とさせていただきます。

品名	製品番号	お買い上げ年月日
会社名		
お客様	ご担当者様名	
	電話番号	
販売店		

使い方や修理に関するお問い合わせ

この製品の使い方や修理について、さらにご質問がございましたら下記までお問い合わせください。
修理を依頼される場合は、ご購入店、または下記までご依頼ください。

【受付時間】月～金曜日8：00～17：00（弊社指定日休日を除く）

 株式会社 前田シェルサービス

〒444-3595 愛知県岡崎市池金町字金山76-4
TEL:0564-48-2411 FAX:0564-48-6252
<https://www.maedauni.co.jp>
e-mail:sales@maedauni.co.jp



0120-312158 (本社直通)

※製品改良のため、仕様などの一部を予告なく変更することがあります。

⚠ 注意

- マニホールドについているIN・OUTを確認して設置してください。
逆接続は誤動作の原因となります。
- ドレン排出口が下向きになるよう垂直に取り付けてください。
- 取り付ける製品の上下前方は、メンテナンスの為、「寸法図」(P.14)の中に記載されているスペースを設けてください。
- 対象ろ過粒子径は0.01μm以上です。
- 仕様範囲外での使用はできません。「製品仕様」(P.14)およびカタログをご覧ください。

● 保守点検時

⚠ 警告

- 保守点検は、「部品の交換と洗浄」(P.7) 以降の手順で行ってください。
取り扱いを誤ると、機器や装置の破壊や作動不良の原因となります。
ハウジング、ボウルのクラック・傷・その他の劣化を検出するため、1ヶ月に1度点検を行ってください。

クラックや傷、その他の劣化が確認された場合は、破損の原因となりますので、新しいハウジング・ボウルに交換してください。

ハウジング、ボウルの汚れを定期的に点検してください。

ハウジング、ボウルに汚れが認められた場合には、家庭用中性洗剤で洗浄してください。

他の洗剤や洗浄液、溶剤などを使用すると破損の原因になります。

・メンテナンス作業

圧縮空気は取扱いを誤ると危険ですので、製品仕様を守るとともに、エレメントの交換やその他のメンテナンスなどは空気圧機器について十分な知識と経験のある方が行ってください。

・保守前点検

製品を取り外す時は必ず供給圧力を止めて配管中の圧縮空気を排気して、大気開放状態（圧力計が0の状態）を確認してから行ってください。

・保守後点検

取り付け・保守後は圧縮空気を接続し、漏れがないか検査を行ってください。もし、音が聞こえるほどの漏れが生じた場合は、使用しないで、正しい取り付けがされているか再確認してください。

・分解・改造の禁止

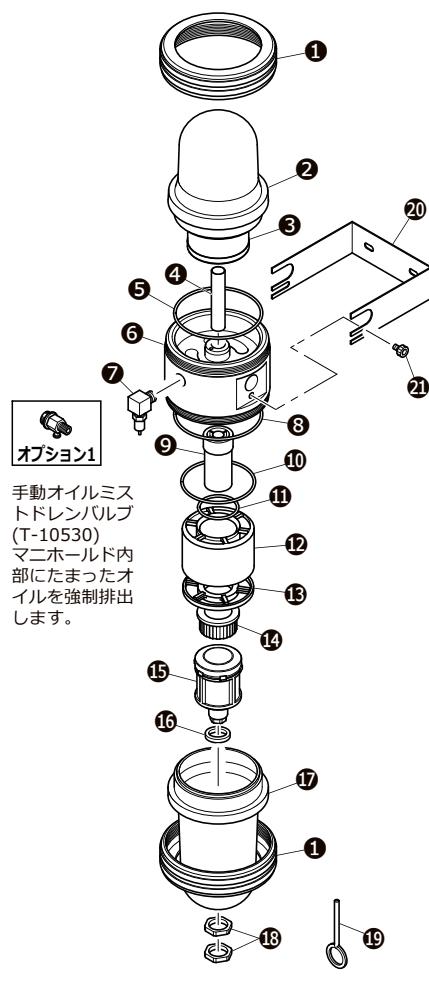
フィルターエレメントの交換以外の分解・改造はしないでください。

・ハウジング、ボウルの定期交換

適切な使用状況であっても、5年以上ご使用されますと、経年劣化による破損の可能性があります。ご使用開始から5年以内にはハウジング、ボウル共に交換が必要です。使用開始日を本体シールに記載して管理してください。

各部の名称

SKT-103A-AB



△ 注意

- ・オイルミストドレンバルブ (SKT-10507) は常時加圧状態 (24時間稼働等) では作動しません。手動オイルミストドレンバルブに取り替えをお勧めします。

- 4 -

知っておくべきこと

● シールテープの巻き方

ねじの端面からねじ山を 1.5 ~ 2 山残し、シールテープを軽く引っ張りながら時計方向に巻きます。



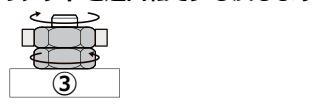
● ダブルナットの締め方

1. 1つ目のナットを手締め後、スパナで 180° 増し締めします。

2. 1つ目のナットをスパナで固定し、2つ目のナットを手締め後、増し締めします。



3. 2つ目のナットを締め付けながら 1つ目のナットを逆回転で少し戻します。



● 交換作業前の準備

部品の洗浄や交換作業を行う前は、必ず以下の作業を行ってください。

△ 注意

- ・必ず供給圧力を止めて配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから行ってください。



1. ドライフィルターに接続している一次側のエアーの供給を止めます。
2. オイルミストドレンバルブを押し上げて、フィルター内の残圧を抜きます。

ドライフィルターの設置

● 必要な工具類

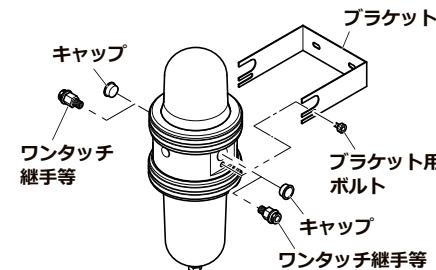
- ・配管施工用工具
- ・シールテープ
- ・ブラケット取付用工具 (六角レンチ 4mm)

● 作業手順

1. 設置場所にブラケットを取り付けます。

△ 注意

- ・メンテナンスに必要なスペースが確保できるように取り付けてください。(「寸法図」(P.14) を参照してください)



2. エアーの IN 側 / OUT 側のキャップを取り外します。

3. ブラケットに本体を取り付けます。

- ・ブラケット用ボルト 2 本

4. 配管、またはワンタッチ継手等を取り付けます。

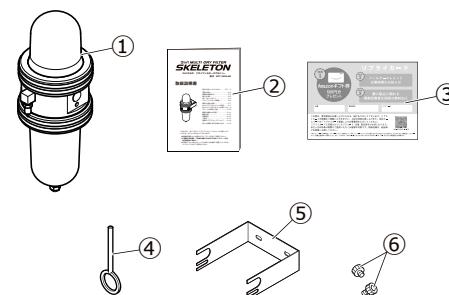
5. ドライフィルター本体に貼り付けてあるシールに、設置日を記載します。

● 設置後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れがないことを確認してください。

同梱品を確認する

お買い上げの商品には、次の付属品が入っています。
不足していたり、破損していた場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。



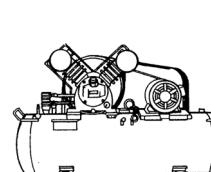
No.	名称	No.	名称
①	ドライフィルター本体	④	ブッシュピン
②	取扱説明書	⑤	ブラケット
③	リブライカード	⑥	ブラケット用ボルト (2本)

取り付け例

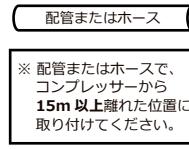
■ 重要

コンプレッサーから排出された空気は高温のため、水分が水蒸気の状態で配管内に流れています。そのため、圧縮空気が外気温度と同程度下がった付近では、水分が水滴化しており、以下の位置にフィルターを取り付けると、最大の効果が得られます。

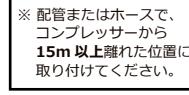
※コンプレッサーの近くにフィルターを取り付けても十分に性能を発揮できません。



15 m以上

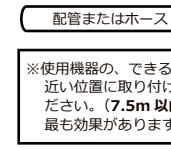


配管またはホース



配管またはホース

7.5 m以内



配管またはホース

コンプレッサー

3in1 マルチ・ドライ
フィルタースケルトン



エアー機器

- 5 -

部品の交換と洗浄

部品名称	品番	時期	洗浄/交換方法
第1エレメント	T-10309	2年ごと	第1エレメントを中性洗剤で洗浄、または交換します。P.8~9を参照してください。
第2エレメント	T-103FS-AB	6~10ヶ月ごと	第2エレメントを交換します。P.8~9を参照してください。
オイルミストエレメント			オイルミストエレメントを交換します。P.10を参照してください。
オートドレンフロート	T-10513B	6~10ヶ月ごと	オートドレンフロートを水洗い、または交換します。P.11を参照してください。
ハウジング	SKT-103HB	5年以内	ハウジングを交換します。P.12を参照してください。
ボウル			ボウルを交換します。P.12を参照してください。

- 6 -

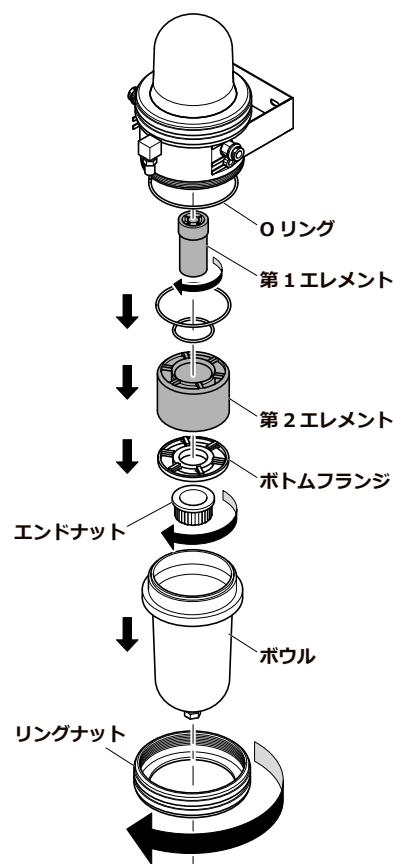
- 7 -

第1エレメントの洗浄と第2エレメントの交換

●作業前準備

- ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

●作業手順



1. リングナットを取り外します。

△注意

- ・リングナットを取り外す際、ボウルが落不しないように、ボウルを手で支えながら取り外してください。

2. ボウルを取り外します。

△注意

- ・ボウルを取り外すときに、Oリングが外れることがあります。無くさないように注意してください。

3. エンドナットを取り外します。

4. ボトムフランジを取り外します。

- ・第1エレメントと第2エレメントを交換する場合は、手順5に進み、第1エレメントを洗浄する場合は、手順6に進みます。

5. 第1エレメントと第2エレメントを取り外し、新しいエレメントを取り付けます。

- ・エレメント取り付け後、手順7に進みます。

△注意

- ・第1エレメントは厚みのある方を上側に取り付けてください。



- ・第2エレメントの矢印が上向きになるように取り付けてください。



6. 第1エレメントを取り外して洗浄し、乾燥させてから取り付けます。

△注意

- ・第1エレメントは厚みのある方を上側に取り付けてください。



7. ボトムフランジを取り付けます。

△注意

- ・ボトムフランジは、突起部が上側になるように取り付けてください。



8. エンドナットを取り付けます。

9. ボウルを取り付けます。

△注意

- ・ボウル上部の溝にOリングが取り付いています。Oリングのヨレ・巻き込みがないように、ボウルを取り付けてください。

10. リングナットを取り付けます。

●交換後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れがないことを確認してください。

- ・新しいエレメントに付属しているシールの【使用開始日】と【次回交換日】を記入して、ハウジングに貼り付けてください。

- 8 -

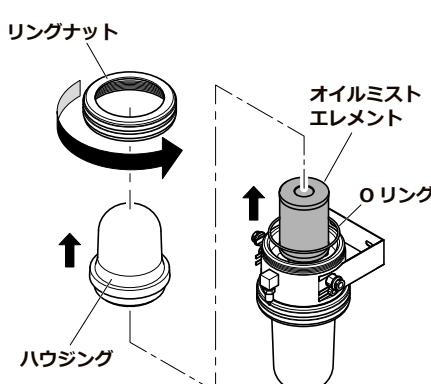
- 9 -

オイルミストエレメントの交換

●作業前準備

- ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

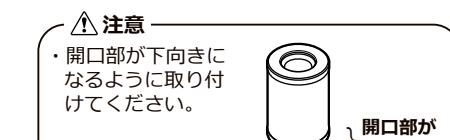
●作業手順



1. リングナットを取り外します。

2. ハウジングを取り外します。

3. オイルミストエレメントを取り外し、新しいエレメントを取り付けます。



4. ハウジングを取り付けます。

5. リングナットを取り付けます。

●交換後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れがないことを確認してください。

- ・新しいエレメントに付属しているシールの【使用開始日】と【次回交換日】を記入して、ハウジングに貼り付けてください。

オートドレンフロートの洗浄 / 交換

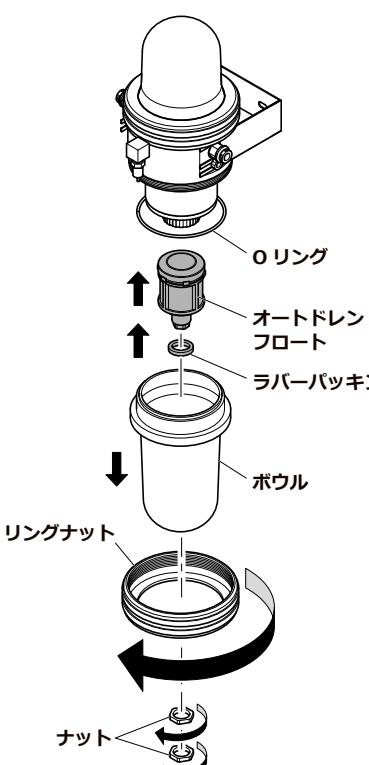
●必要な工具類

- ・スパナ(21mm)(ナット外し用)

●作業前準備

- ・エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

●作業手順



1. リングナットを取り外します。

△注意

- ・リングナットを取り外す際に、ボウルが落不しないように、ボウルを手で支えながら取り外してください。

2. ボウルを取り外します。

△注意

- ・ボウルを取り外すときに、Oリングが外れることがあります。無くさないように注意してください。

3. ナットを取り外します。

4. オートドレンフロートを取り外します。

△注意

- ・ボウルの底にラバーパッキンが残っていないか確認してください。新しいオートドレンフロートにラバーパッキンも付属しています。

5. 水洗いし、乾燥させたオートドレンフロート、または新しいオートドレンフロートを取り付けます。

6. ナットを取り付けます。(P.6 参照)

7. ボウルを取り付けます。

△注意

- ・ボウル上部の溝にOリングが取り付いています。Oリングのヨレ・巻き込みがないように、ボウルを取り付けてください。

8. リングナットを取り付けます。

●交換後の作業

- ・一次側のエアーを供給して、エアー漏れがないことを確認してください。

ハウジング・ボウルの洗浄 / 交換

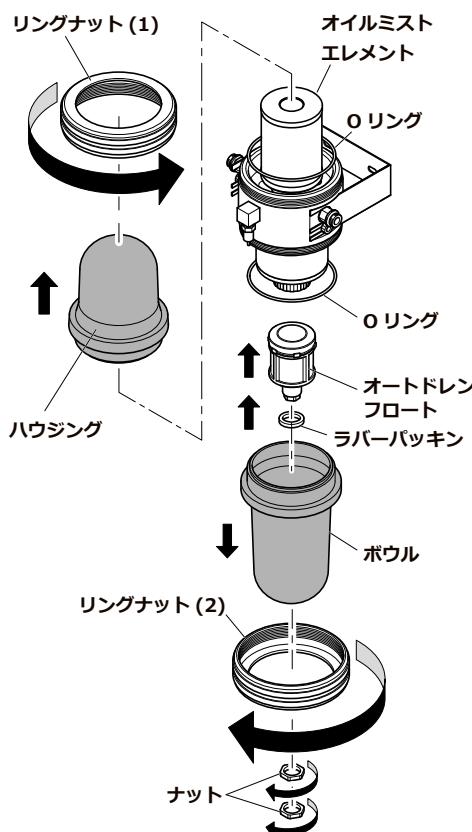
● 必要な工具類

- スパナ (21mm) (ナット外し用)

● 作業前準備

- エアーの供給を止め、フィルター内の残圧を抜きます。(P.6 参照)

● 作業手順



ハウジングの洗浄 / 交換

- リングナット(1)を取り外します。
- ハウジングを取り外します。
- 水洗いし、乾燥させたハウジング、または新しいハウジングを取り付けます。
- リングナット(1)を取り付けます。

ボウルの洗浄 / 交換

- リングナット(2)を取り外します。

△注意

 - ・リングナット(2)を取り外す際、ボウルが落不しないように、ボウルを手で支えながら取り外してください。
- ボウルを取り外します。

△注意

 - ・ボウルを取り外すときに、Oリングが外れることがあります。無くさないように注意してください。
- ナットを取り外します。
- オートドレンフロートを取り外します。

△注意

 - ・ボウルの底にラバーパッキンが残っていないか確認してください。
- 水洗いし、乾燥させたボウル、または新しいボウルにオートドレンフロートを取り付けます。
- ナットを取り付けます。
- ボウルを取り付けます。

△注意

 - ・ボウル上部の溝にOリングが取り付いています。Oリングのヨレ・巻き込みがないように、ボウルを取り付けてください。
- リングナットを取り付けます。

● 交換後の作業

- 一次側のエアーを供給して、エア漏れがないことを確認してください。

修理を依頼される前に

故障かな?と思ったときは、以下のことを確認し、処置を行ってください。
処置後、改善が見られない場合は、巻末に記載している弊社営業所までお問い合わせください。

こんなとき	確認事項	考えられる原因	処置
水が溜まっているのにドレンが排出されない	1. 水面の位置が左図の①より高いか低いかを確認	①より低い場合 オートドレンは水位が①の高さにならないと自動で排出されません。	付属のブッシュピンをオートドレンフロートの下部より挿入し、2~3度オートドレンフロートを押し上げてドレンを排出させて、ゴミや汚れをエアーの力で排出します。
	②より高い場合 使用する圧力が高すぎるか、油などの不純物がオートドレンフロートの動きを阻害している可能性があります。	2. ドレンが凍っていないかどうかを確認	使用温度範囲外での使用の可能性があります。
	3. 上記1.~2.の処置を行ってもドレンが排出されない場合	オートドレンフロートの故障の可能性があります。	オートドレンフロートを交換してください。(P.11参照)
ドレンからエアーが漏れっぱなしになる	4. 使用圧力が0.3~0.7MPa以外か以内かを確認	0.3~0.7MPa以外の場合 規定値の範囲外の圧力で使用した場合、オートドレンが正常に作動しないことがあります。	0.3~0.7MPa以内の圧力で使用してください。
	5. 4の処置を行ってもエア漏れが止まらない場合	長期間の使用によるシールゴムの劣化の可能性があります。	オートドレンフロートを交換してください。(P.11参照)
	6. フィルターからエア機器までの距離を確認	フィルターからエア機器までの距離が長く、配管内で結露が発生している可能性があります。	フィルターの取り付け位置を、エア機器側に移動してください。(P.5参照)
	7. コンプレッサーからフィルターまでの距離を確認	コンプレッサーからフィルターまでの距離が短く、水滴の結露が発生していない可能性があります。	コンプレッサーからフィルターまでの距離を長くします。直線距離が短い場合は、ホースなどを巻いて、全長15m以上の長さにしてください。(P.5参照)

- 12 -

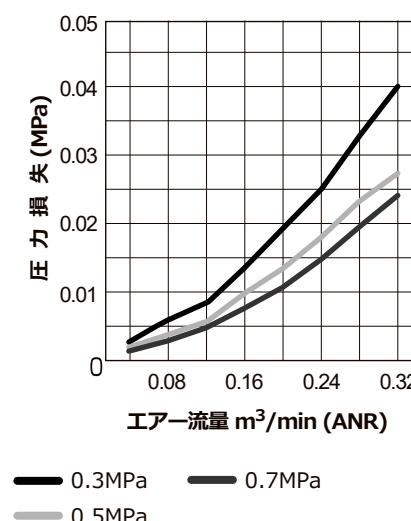
製品仕様

フィルター型式	使用圧力 (MPa)	使用温度範囲 (°C)	固体粒子除去 (μm)
SKT-103A-AB	0.3~0.7	5~40	0.01

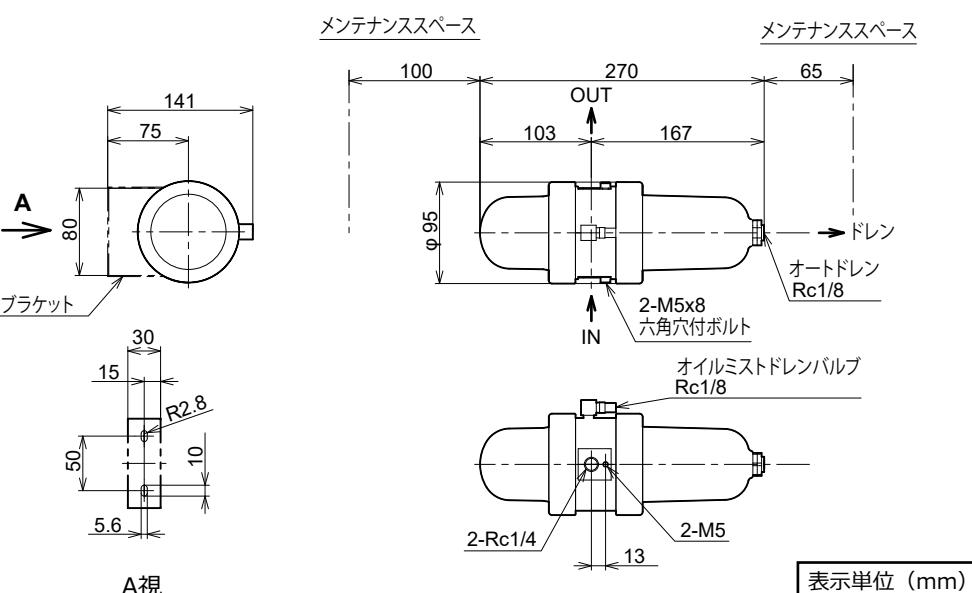
最大流量 (ℓ/min(ANR) 0.7MPa時)	接続口径 (インチ)	質量 (Kg)	フィルター要素型式
300	Rc1/4	1.1	第1エレメント ・T-10309 第2エレメント + オイルミストエレメント ・T-103FS-AB

※ ℓ/min(ANR)とは、大気圧状態での容積です。

流量特性



寸法図



ポリカーボネイトの耐薬品性について

ポリカーボネイトの耐薬品性について、下表に示します。

以下のような化学薬品が圧縮空気中に含まれたり、霧団気中または付着する場所ではハウジングやボウルが破損し、事故の原因となる場合があるため、使用しないでください。

有機溶剤、化学薬品の霧団気、および付着による影響
(参考) 物性を劣化させる薬品データ

種類	薬品名	使用用途例	材質 ポリカーボネイト
酸	次亜塩素酸ナトリウム、塩酸、硫酸、リン酸、クロム酸等	殺菌・金属の酸洗い液	×
アルカリ	か性ソーダ、か性カリ、消石灰、アンモニア水、炭酸ソーダ等	金属の脱脂、工業塩、水溶性切削液、漏れ検知液	×
無機塩	硫化ソーダ、硫酸ソーダ、硝酸ソーダ、硝酸カリ等		×
塩素系溶剤	四塩化炭素、クロロホルム、塩化ビニル等	金属の洗浄液、印刷インク、希釈	×
芳香族類	ベンゼン、トルエン、キシレン、シンナー等	塗料、ドライクリーニング	×
ケトン類	アセトン、メチルエチルケトン、シクロヘキサン等	写真用フィルム、ドライクリーニング、繊維工業	×
アルコール類	エチルアルコール、メチルアルコール、IPA等	不凍剤、接着剤、洗浄	×
オイル類	ガソリン、灯油等	洗浄	×
エスチル類	フタル酸ジメチル、フタル酸ジエチル、酢酸等	合成油、防錆剤の添加剤	×
エーテル類	メチルエーテル、エチルエーテル等	ブレーキ油の添加剤	×
アミン類	メチルアミン等	切削油、ブレーキ油の添加剤、ゴム促進剤	×
その他	ネジロック液 海水 リーケスター	フィルター設置等 洗浄 漏れ検知	×

上記の要因がある場合、または疑わしい場合は、弊社アルミ製 3in1 マルチ・ドライフィルターをご使用ください。

- 14 -

- 15 -